

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年6月4日(火)
- 2 確認箇所
1号機原子炉建屋(大物搬入口2階遠隔操作室)
- 3 確認項目
1号機原子炉格納容器アクセスルート構築に係るX-2ペネ内扉穿孔作業
- 4 確認結果の概要
1号機の燃料デブリ取り出しに向けて、今年度上期に「潜水機能付きボート型調査装置」を用いた内部調査を実施する計画としている。
前回(5月14日)、その準備作業としてX-2ペネトレーション(原子炉格納容器の貫通部分のこと。以下、「ペネ」という。)の外扉の穿孔作業を確認した。その後、これまでに全3箇所の外扉の穿孔が完了しており、本日からペネの内扉の穿孔作業が開始されることから、現場の状況を確認した。
 - 本で行われた作業
 - ・「調査装置監視用(2箇所)」のうち、1箇所(200A)について内扉(一部)の穿孔
 - 作業場所
 - ・穿孔作業: 1号機原子炉建屋1階パーソナルエアロック室内
 - ・穿孔装置遠隔操作: 1号機原子炉建屋大物搬入口2階
 - 作業の概要
 - ・穿孔作業はアブレイブウォータージェット*を使用して実施された。

※ 水に研磨材を混入させて高圧で噴射させることで、金属などの切断加工を行う機械

 - ・作業は複数の協力企業の社員が頻繁に入れ替わって実施された。
 - ・作業エリアに設置されたダストモニタによって空気中の放射性物質濃度測定が行われ、内扉の貫通前後で異常な変動は認められなかった。
 - ・なお、原子炉格納容器ガス管理設備フィルターの上流側に設置した仮設のダストモニタの値が作業管理のための目安値に達した可能性があることから、東京電力は今回の作業に伴うダスト濃度のデータ確認・評価を行い、必要な対策を講じつつ、段階を踏んで作業を進めるとしている。
- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。